

H30年度 理学部 研究交流会

2019年1月12日, 場所: 大学会館2階会議室 (開場 08:30)

プログラム

開会の挨拶 (08:50-08:55): 野崎 理学部長

第1セッション (司会・岩楯)

- 09:00-09:15 三角修己『微細藻類を用いた葉緑体ゲノムの複製・分配機構の解析』
- 09:20-09:35 上野秀一『ツメガエル胚の細胞周期伸長に依存したオルガネラ再構築と細胞分化』
- 09:40-09:55 田代啓悟『界面活性剤アシスト法により構築されるポルフィリン1次元構造体の形成機構およびその光触媒活性に影響する因子の解明』
- 10:00-10:15 田中祥平『アルコキシシラン変性ポリオレフィン樹脂水-架橋反応に対する高活性・高効率な触媒の開発』
- 10:20-10:35 藤林将『分子性 Mo 酸化物が示す Mo-O 骨格の変位による構造の歪み』
- 10:35-10:45 休憩

第2セッション (司会・新沼)

- 10:45-11:00 坂井伸之『うまい人とへたな人の投球動作は力学的に何が違うのか～データサイエンスの落とし穴～』
- 11:05-11:20 家舗真衣『 $f(R)$ 重力理論における初期宇宙の加速膨張と現在の加速膨張の統一モデルの検証』
- 11:25-11:40 古谷庸介『山口局・日立局の1基線 VLBI 観測による遠方活動銀河核ジェットの統計的研究』
- 11:45-12:00 青木貴弘『山口電波望遠鏡を用いたパルサー観測体制の構築』
- 12:05-12:20 元木業人『山口干渉計を用いた極めて若い大質量原始星予備群の大規模探査』
- 12:20-13:15 昼食

第3セッション (司会・鈴木)

13:15-13:30 野崎隆之『シフト演算を利用したパケット指向の誤り訂正符号』

13:35-13:50 韓 先花『機械学習による高解像度ハイパースペクトル画像の復元に関する研究』

13:55-14:10 松野浩嗣『ICT による中心商店街の活性化-アプリ不要の利用環境実現技術について-』

14:10-14:20 休憩

院生と学部生による 15 名のポスター発表 (14:20-15:30)

沖田圭丞 (D3, ステップアップ採択者)

『細胞性粘菌の収縮環の微細構造、動態の解析』

田中真仁 (D2, ステップアップ採択者)

『細胞分裂時の細胞膜の動態制御機構の解明』

家舗真衣 (D2, ステップアップ採択者)

『 $f(R)$ 重力理論における初期宇宙の加速膨張と現在の加速膨張の統一モデルの検証』

児玉省吾 (D1, ステップアップ採択者)

『山口県中部, 山陽帯に産する複合深成岩体のマグマ過程と Sr・Nd 同位体組成～白亜紀火成活動におけるエンリッチマンタルの可能性～』

中川 孝典 (D1, ステップアップ採択者)

『種の研究 -放散虫化石を例にして-』

田村友識 (D2, ステップアップ採択者)

『地震災害を引き起こしうる活断層の性状と活動性評価に関する研究』

熱田真一 (D2, ステップアップ採択者)

『建設工事に伴う自然由来重金属等の土壌・地下水汚染と水-岩石反応に関する研究』

Dhidhi Pambudi (D1, ステップアップ採択者)

“Generating the Structure of Neural Networks by Metaheuristic Algorithm”

片岡 聡 (M1)・三角修己

『紅藻 *Cyanidioschyzon merolae* における CmRuvX 遺伝子の機能解析』

花本勇太 (M2)・野崎隆之

『排他的論理和とシフト演算を用いた消失訂正符号』

江本智和 (M1)・野崎隆之

『シフト演算を用いた符号化スロット化 ALOHA の漸近性能の解析』

村山佳大 (M1)・野崎隆之

『Zigzag Decodable 噴水符号に対する効率的なスケジューリングを用いた逐次反復復号法』

川口大貴 (M1)・長澤翔平 (B4)・松野浩嗣

『ICT による中心商店街の活性化—アプリ不要の利用環境実現技術について—』

吉武大輝 (B4)・韓 先花

『空間構造とスペクトル特性を融合する深層ネットワークによるハイパースペクトル画像の高画質化』

田口雅也 (B4)・韓 先花

『コンテンツウェアスパース性に基づくスペクトル表現及びハイパースペクトル画像の高画質化』

閉会の挨拶 (15:40–15:45)：山崎鈴子

主催：理学部企画室